

昭和47年度～

機関紙日本消防から転載 酒二合は体内に 十時間残る!!

ほろ酔い気分、ふるさとの民謡口ずきも楽しい仲間と酒を飲む交しなごちやかかひとを過ぎるのは、精神衛生の上からも健康的です。ところが、こうしたからだのなかの血液中のアルコールが、消滅するまでは、清酒一杯で約五時間かかるといわれています。

二合も飲ばば、およそ十時間残る。五時間体内にアルコールが残っていることになり、残った酒が、仕事のあるときは二合を限度とし、ハメを外すのは、翌日が休みのときにしての方が賢明と発表されています。

わが国は酒の国であり、何かに酔って宴会が行なわれる習慣があるから、健康上からいって、酒を飲む習慣を改めよう。

火の用心

①地震が起きたら
まず火のしめつけ
1 地震を感じたら手早く火のしめつけ
2 使用中の電器器具は必ずスイッチを切る
3 出火のおそれのある危険物、化学薬品等の始末をする
4 火事が出たら早く隣近所に知らせ、協力を求めて消火すること
5 けが人の救出、みんなの協力を求め、救出する
6 消火のしめつけ、救出するもの消火すること
7 消火が完了したら、早急消防機関に連絡すること

震度	名称	地震動の程度
0	無感	地震計に感じないが、人体には感じない
1	微震	静止した人また地震に特に敏感な人に感じる程度
2	軽震	一般の人々が感じ、戸障子が動く
3	弱震	家屋の動き、戸障子が降り、振り時計が止る、電灯の下り、おぼろげな水面が動く
4	中震	家屋が激しく動き、壊れ、八分目くらい入る、中の水があふれる
5	強震	壁にき裂け、土が崩れる

消防大学校を卒業して

秋田市消防本部 伊勢 登

昨年の九月消防大学校の本科に入校を命じられ、六カ月の教育を終えてこのたびに卒業したわけであるが、その六カ月は私自身にとってはほんの短い期間に過ぎず、平素の不勉強と能力の限界から、毎日毎日追われていて、幸い毎日のない六カ月の間に私には長かった。たゞの感嘆を失わせていたのであろう。

六カ月の教育で私は、何を学ばなければならぬかと自問したとき、残念ながら私は、これと、明快に答えられなかった。しかし、かたがたの消防隊員としての責任の一端は知っていた。それは、消防隊員としての責任の一端は知っていた。それは、消防隊員としての責任の一端は知っていた。

消防放談

放水生

◎本県の火災分類
昭和46年の火災の発生件数は六八五件、これを分類すれば、建物火災四九一件(全火災の七二%)、林野火災二二一件(全火災の三二%)、船舶火災一件、車両火災一件、全火災の〇・二%、その他四五件(全火災の〇・六%)となつてゐる。

本県は毎日、八件づつ火災がどこかで発生してゐる。これは、二倍が燃失してゐる。二倍が燃失してゐる。二倍が燃失してゐる。

防火だより

防火だより

留守中の火災が発生しがちです。この季節は強い南風が吹き、空気も乾燥しますので火災が発生しやすい状況です。火災の発生を防ぐためには、留守中の防火対策が重要です。

外出するときは必ず火の元を点検しましょう。ガス器具はコンクや元栓をしめるとともに、電気器具はスイッチを切るだけでなく、コードをコンセントから抜きましょう。

火の始末

火の始末

火を使う場所と器具の点検を行ない、安全を確認する。各室に非常口や避難経路を明示しておくこと。宿泊者を案内して避難方法を知らせる。

火災発生時の対応方法。火災発生時は、まず火の元を止め、消火器で消火を試みる。消火できない場合は、早急消防機関に連絡し、避難する。

火を使う場所と器具の点検を行ない、安全を確認する。各室に非常口や避難経路を明示しておくこと。宿泊者を案内して避難方法を知らせる。

火災発生時の対応方法。火災発生時は、まず火の元を止め、消火器で消火を試みる。消火できない場合は、早急消防機関に連絡し、避難する。

中田建設株式会社

取締役社長 山崎 寛喜
専務取締役 中田 栄

本社 秋田県能代市万町4の20 TEL (01855) 2-5335代表
出張所 秋田県秋田市山王新町1の1 TEL (0188) 24-3241代表

東京・仙台・岩手

昭和47年度 代議員会議開催す

昭和47年度
代議員会議開催す
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 認定第四号昭和46年度特
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 認定第五号昭和46年度特
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 認定第六号昭和46年度特
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 認定第七号昭和46年度特
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 認定第八号昭和46年度特
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 認定第九号昭和46年度特
 別会計種別互助会歳入歳出
 決算承認について
 以上の議案を慎重審議し
 全議案を可決し午後二時二
 十分閉会した。

昭和47年度 消防関係生存者叙勲

本県の叙勲者は次のとおり
 である。
 勲五等瑞宝章
 藤原町 柏毛
 八田 興七
 本庄市 船岡
 佐々木 興一
 鷹巣町 七日市
 西村 正助
 長坂三 一郎
 中仙町 豊川
 相馬 勝蔵
 相馬 将軍野
 池田 寅吉
 鹿角 七日市
 鹿角 文二
 九島 文二
 河辺町 和島
 今野 政勝
 秋田市 外旭川
 大田 太田
 高橋 周一郎
 西仙北町 大沢部
 斎藤 文四郎
 雄勝町 境塚
 西村 正助
 能代市 柳町
 大野 金蔵
 男鹿市 船川
 秋田市 仁井田
 相馬 聖蔵
 鹿角 七日市
 雄勝町 院内
 伊藤 久一郎
 以上十五名

6月13日の通常代議員会で決議された決算予算等

認定第1号 昭和46年度一般会計歳入歳出決算書
 1. 歳入高金 7,159,253円也
 1. 歳出高金 7,159,253円也
 (歳入の部) 昭和46年度一般会計歳入歳出決算書 (単位 円)

科 目	予 算 現 額		収入 比 較
	当初予算額	補正予算額	
1. 財産収入	20,000	20,000	22,620
2. 分担金	935,500	1,185,500	1,185,928
3. 補助金	600,000	600,000	600,000
4. 委託金	1,600,000	1,600,000	1,600,000
5. 事業収入	376,000	376,000	341,880
6. 繰入金	4,477,000	4,477,000	2,820,000
7. 繰越金	361,000	361,000	575,550
8. 雑収入	12,000	12,000	13,275
歳入合計	8,381,500	8,631,500	7,159,253

(歳出の部) (単位 円)

科 目	予 算 現 額		支出 不 要 額
	当初予算額	補正予算額	
1. 協会の費	6,974,100	6,974,100	6,018,087
2. 事務費	3,045,900	3,045,900	2,940,007
3. 事業費	3,351,200	3,351,200	2,609,870
4. 雑費	12,000	12,000	13,275
5. 繰入金	4,477,000	4,477,000	2,820,000
6. 繰越金	361,000	361,000	575,550
7. 雑収入	12,000	12,000	13,275
歳入合計	8,381,500	8,631,500	7,159,253

議案第1号 昭和46年度消防会館特別会計目録見額の補正について

科 目	補正前の目録見額		計	説 明
	目録見額	補正額		
1. 事業収入	14,724,000	△1,600,000	13,124,000	
2. 雑収入	12,000	△1,000	10,999	
3. 雑収入	51,000	1,000,000	1,051,000	中田会長よりの寄付金
4. 繰入金	4,477,000	△1,000	4,476,000	一般会計より 250,000円 消防会館増改築費より

ほかは既定目録見額のとおり

歳入合計	15,309,000	15,309,000
------	------------	------------

歳出は既定目録見額のとおり

認定第2号 昭和46年度消防会館特別会計収支決算書	11,448,199円也
1. 収入高金	11,398,649円也
1. 支出高金	49,550円也

(収入の部) 昭和46年度消防会館特別会計収支決算書

科 目	予 算 現 計		収入 比 較
	補正前の目録見額	補正目録見額	
1. 事業収入	14,724,000	13,124,000	8,965,330
2. 雑収入	2,268,000	2,268,000	2,203,800
3. 補助金	1,468,000	1,468,000	1,403,800
4. 委託金	1,600,000	1,600,000	1,600,000
5. 事業収入	800,000	800,000	800,000
6. 繰入金	450,000	450,000	647,140
7. 繰越金	12,006,000	10,405,000	6,114,390
8. 雑収入	534,000	534,000	617,155
9. 雑収入	24,000	24,000	83,155
10. 雑収入	300,000	300,000	534,000
11. 雑収入	60,000	60,000	270,415
12. 雑収入	150,000	150,000	57,000
13. 雑収入	51,000	1,000,000	129,000
14. 雑収入	50,000	50,000	21,000
15. 雑収入	1,000,000	1,001,000	1,265,714
16. 雑収入	1,000,000	1,001,000	1,227,740
17. 雑収入	600,000	600,000	600,000
歳入合計	15,309,000	15,309,000	11,448,199

(支出の部)

科 目	予 算 現 計		支出 不 要 額
	目録見額	流用額	
1. 会館管理費	6,516,000	6,516,000	5,075,500
2. 光熱費	3,951,000	3,546,515	2,245,515
3. 電気料	1,331,000	926,515	926,415
4. ガス費	20,000	20,000	16,125
5. 換気暖房費	2,112,000	2,086,375	789,350
6. 水道料	488,000	513,625	513,625
7. 整備清掃費	1,000,000	121,725	1,121,725
8. 通信費	1,300,000	198,955	1,101,045
9. 諸税公課	10,000	481,715	491,715
10. 保険費	175,000	175,000	174,500
11. 営繕修理費	30,000	30,000	30,000
12. 雑費	50,000	50,000	50,000
13. 事業経費	4,477,000	4,477,000	3,922,195
14. 諸給与	3,376,000	3,376,000	2,978,437
15. 職員給与	2,970,000	2,970,000	2,790,257
16. 退職手当	120,000	120,000	120,000
17. 厚生費	286,000	286,000	186,180
18. 出張旅費	100,000	44,285	55,715
19. 郵便費	30,000	30,000	11,990
20. 消耗品費	532,000	69,341	462,659
21. 事務用品	232,000	64,485	167,515
22. 事務用品	100,000	30,056	69,944
23. 印刷費	200,000	25,200	225,200
24. 事務用品	319,000	69,341	388,341
25. 事務用品	235,000	4,856	239,856
26. 渉外費	84,000	64,485	148,485
27. 雑費	50,000	50,000	38,691
28. 雑費	70,000	44,285	114,285
29. 図書印刷費	50,000	10,390	60,390
30. その他の雑費	20,000	33,895	53,895
31. 雑支出			

1表 彰	302,000	随 時	2.15年勤続表彰 3.祝賀勤労表彰 4.支部消防連合訓練大会における成績優良消防団表彰 5.日本消防協会長表彰の伝達 1.殉職消防職(団)員ならびに在職中死亡消防職(団)員に対する弔慰
2弔 慰 見 舞	106,000	随 時	2.消防職(団)員の公務負傷により長期療養を受けた者に対する見舞 3.消防に協力して死亡した者に対する弔慰
無火災県民 3 運動の推進	1,600,000	毎 月 15日	1.新聞の発行 防火思想の普及、消防知識の啓蒙、消防士気の高揚および市町村との連隊協力のため、新聞「消防秋田」を従前3,450発行し、県下市町村消防幹部(消防団は部長以上)消防長、消防署長その他に無償配布する。 2.防火思想の普及向上と出火の絶滅を期するため、次の事業を行なう (1)防火映画フィルムの購入貸出し (2)防火ポスターの印刷配布 (3)支部防火大会の開催 (4)防火ポスター図案と標語の懸賞募集 (5)防火隊会長の選任 (6)無火災地区表彰 (7)防火協会の開催 (8)火災予防組合の育成指導 (9)無火災県民運動の指導奨励 (10)無火災市・町・村に感謝状の贈呈
4教 養 講 義	168,000	随 時	1.消防士の啓蒙と消防技術の練進向上のため、支部と共催で講習会を開く 2.工場、事業場等の消防体制強化のため、支部と共催で特設消防士の訓練指導等を行なう 消防士への高揚と消防防災の研究、防災体制の強化、消防技術の練進向上のため、秋田市において全県消防大会を開催する
5 全 県 消 防 大 会	330,000	7月 11日	1.消防士気の高揚と消防技術の練進向上のため、各支部代表による全県消防連合訓練大会を開催する 2.全国消防技芸大会に県代表を派遣する
6 全 県 消 防 訓 練 大 会	504,000	9月 9日	2.全国消防技芸大会に県代表を派遣する
7 調 査 研 究	10,000	随 時	消防体制の強化に資するため、先進地視察およびその他の調査研究を行なう
計	3,020,000		

議案第3号 昭和47年度支部分担金の徴収額について
昭和47年度の支部分担金の賦課基準を次のとおりとし、徴収額を別表のとおり定める。
1.世帯徴収 1世帯当り 2円40銭、ただし市は2円15銭とする。
2.会員徴収 1人当り 8円

別 表 昭和47年度支部分担金徴収額

支 部	区 分	徴 収 額	世 帯 徴 収		会 員 数 別		備 考
			世 帯 数	金 額	会 員 数	金 額	
鹿 角		47,939	15,412	36,979	1,370	10,960	48,801
大 館	北秋田	111,557	39,270	89,517	2,755	22,040	112,925
能 代 市	山 本 郡	85,749	29,947	68,093	2,207	17,656	86,716
男 鹿 市	南 秋 田 市	75,539	24,930	57,523	2,252	18,016	74,717
秋 田 市	市 区	154,542	65,201	140,182	1,795	14,360	148,760
河 辺 市	市 区	17,751	4,580	10,991	845	6,760	18,107
本 荘 市	由 利 郡	102,313	29,419	68,169	4,263	34,144	102,880
大 曲 市	仙 北 郡	129,559	40,525	94,759	4,350	34,800	130,338
横 手 市	平 鹿 郡	98,647	28,018	64,575	4,259	34,072	99,068
湯 沢 市	雄 勝 郡	80,621	22,156	52,789	3,479	27,832	79,012
計		904,217	299,458	683,577	27,580	228,640	901,324

議案第4号 昭和47年度一般会計歳入歳出予算
1.歳入高金 7,031,000円也
1.歳出高金 7,031,000円也
昭和47年度一般会計歳入歳出予算

(歳入の部)

科 目	金 額	説 明
昭和45年度繰越	20,647,388	
繰 入 金	9,128,019	昭和44年度繰越金 2,493,494円 昭和45年度繰越金 3,397,025円 昭和46年度未経過共済積立金 3,037,500円繰入れる。協会非職員一部返還 200,000円
利 息	1,873,880	安田信託、秋田銀行、羽後銀行より
計	31,649,287	

(支出の部)

科 目	金 額	説 明
繰 出 金	1,000,000	6/2鹿角支所外9支部に事務費として繰出す
計	1,000,000	

参考資料 昭和45年度と46年度罹災比較

支 部 名	45年度件数	見舞金額	46年度件数	見舞金額
鹿 角 支 部	1	65,000	1	150,000
大 館 北 秋 田 支 部	6	520,000	(1) 8	714,500
能 代 市 山 本 郡 支 部	8	316,000	5	405,000
男 鹿 市 南 秋 田 支 部	0	0	9	426,000
秋 田 市 支 部	2	130,000	5	450,000
河 辺 市 市 区 支 部	0	0	3	175,000
本 荘 市 由 利 郡 支 部	7	452,000	(1) 10	570,000
大 曲 市 仙 北 郡 支 部	6	350,000	6	550,000
横 手 市 平 鹿 郡 支 部	5	280,000	10	768,000
湯 沢 市 雄 勝 郡 支 部	3	469,000	2	150,000
計	38	2,582,000	59	4,358,500

火元 22

(1)貸 出 子 金	1,200,000	1,200,000	1,101,204	98,796
4繰 出 金	1繰 出 金	2,957,000	2,957,000	1,657,000
5予 備 費	1予 備 費	159,000	159,000	159,000
支出合計		15,309,000	15,309,000	3,916,351

認定第3号 昭和46年度特別会計罹災互助会歳入歳出決算書
1.歳入高金 13,211,182円也
1.歳出高金 10,523,614円也
差引残高金 2,687,568円也
昭和47年度共済積立金へ
昭和46年度特別会計罹災互助会決算書

(歳入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減
1積 立 金	11,853,000	11,786,925	△ 66,075
(1)積 立 金	8,100,000	8,033,925	△ 66,075
(2)未経過共済積立金	3,753,000	3,753,000	
2利 子	280,000	424,257	144,257
(1)利 子			
3繰 入 金	1,000,000	1,000,000	
(1)繰 入 金			
歳入合計	13,133,000	13,211,182	78,182

(歳出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	比 較 増 減
1見 舞 金	6,775,000	4,358,500	△ 2,416,500
2事 務 費	1,798,880	1,607,614	△ 191,266
(1)事 務 費	207,000	86,993	△ 120,007
1全 議 費	1,426,880	1,425,632	△ 1,248
2強 化 費	75,000	12,790	△ 62,210
3旅 費	50,000	49,060	△ 940
4用 料 費	30,000	23,139	△ 6,861
5役 務 費	10,000	10,000	
6備 品 購 入 費			
3未経過共済積立金	3,037,500	3,037,500	
(1)未経過共済積立金	3,037,500	3,037,500	
4繰 出 金	1,520,000	1,520,000	
(1)繰 出 金			
5予 備 費	1,620		△ 1,620
(1)予 備 費			
歳出合計	13,133,000	10,523,614	2,609,386

認定第4号 昭和46年度特別会計罹災互助会共済積立金歳入歳出決算書
1.歳入高金 31,649,287円也
1.歳出高金 1,000,000円也
差引残高金 30,649,287円也

(歳入の部)

科 目	金 額	説 明
昭和45年度繰越	20,647,388	
繰 入 金	9,128,019	昭和44年度繰越金 2,493,494円 昭和45年度繰越金 3,397,025円 昭和46年度未経過共済積立金 3,037,500円繰入れる。協会非職員一部返還 200,000円
利 息	1,873,880	安田信託、秋田銀行、羽後銀行より
計	31,649,287	

(支出の部)

科 目	金 額	説 明
繰 出 金	1,000,000	6/2鹿角支所外9支部に事務費として繰出す
計	1,000,000	

参考資料 特別会計罹災互助会財産調

事 業 種 目	事 業 費	実 施 時 期	備 考
1.共 済 積 立 金	30,649,287円		
安田信託(仙台支店)信託	389,815円		
羽後銀行(駅前支店)定期	8,046,924円		
秋田銀行(県庁支店)定期	22,212,548円		
計	30,649,287円		
2.昭 和 46 年 度 繰 越 金	2,687,568円		
秋田銀行(県庁支店)定期	1,480,511円		
羽後銀行(駅前支店)普通預金	101,047円		
秋田銀行(県庁支店)普通預金	1,106,010円		
計	2,687,568円		
3.貸 出 金	20,300,000円		
合 計	33,336,855円		
4.電 信 電 話 債 券	310,000円		
建 設 資 金	20,000,000円		
協 会 非 債 券	300,000円		
計	53,946,855円也		

議案第2号 昭和47年度事業計画

事 業 種 目	事 業 費	実 施 時 期	備 考
1表 彰	302,000	1月 1日	1.10年勤続表彰
2弔 慰 見 舞	106,000		
3無火災県民運動の推進	1,600,000		
4教 養 講 義	168,000		

4 繰 出 金	1 繰 出 金	1 借 入 金 利 子	3,500,000
5 債 還 金	1 債 還 金	1 借 出 金	3,500,000
6 予 備 費	1 予 備 費	1 借 還 金	66,000
繰 出 合 計		1 予 備 費	16,687,000

議案第7号 昭和47年度特別会計罹災互助会歳出予算
 1. 歳入高金 9,190,000円也
 1. 歳出高金 9,190,000円也

昭和47年度特別会計罹災互助会歳入歳出予算
 (歳入の部)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較、増減
1 積立金		11,853,000	△ 3,813,000
(1) 積立金	8,040,000	8,100,000	△ 60,000
(2) 未経過共済積立金		3,753,000	△ 3,753,000
2 利子	150,000	280,000	△ 130,000
(2) 利子			
3 繰入金	1,000,000	1,000,000	
(1) 繰入金			
繰入合計	9,190,000	13,133,000	△ 3,943,000

(歳出の部)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較、増減
1 見舞金	6,090,000	6,775,000	△ 685,000
(1) 見舞金			
2 事務費	1,704,400	372,000	1,332,400
(1) 事務費			
1 給料	480,000	480,000	
2 手当	284,900	284,900	
3 共済費	37,000	37,000	
4 会議費	94,500	207,000	△ 112,500
5 旅費	102,000	75,000	27,000
6 需用費	60,000	50,000	10,000
7 役員費	50,000	30,000	20,000
8 備品購入費	50,000	10,000	40,000
9 雑費	546,000	546,000	
3 強化費	1,165,000	1,426,880	△ 261,880
(1) 強化費			
4 未経過共済積立金	3,037,500		△ 3,037,500
(1) 未経過共済積立金			
5 繰出金		1,520,000	△ 1,520,000
(1) 繰出金			
6 予備費	230,600	1,620	228,980
(1) 予備費			
繰出合計	9,190,000	13,133,000	△ 3,943,000

議案第8号 昭和47年度特別会計罹災互助会事務手数料の配分について

種別	積立金に 配分金額	まいなす見舞金を基 礎にした配分金額	計
鹿角支部	23,933円	3,344円	27,277円
大館北秋支部	47,938	3,916	51,854
能代市山平支部	43,922	396	44,318
男鹿南秋支部	40,284	23,727	64,011
秋田市市辺支部	41,165	58,190	99,355
河内市利部	19,014	28,688	47,702
本荘市由利部	86,959	69,410	156,369
大曲市東北部	62,902	79,376	142,278
横手市平鹿部	71,453	125,576	197,029
湯沢市雄勝部	61,940	107,867	169,807
計	500,000	500,000	1,000,000

議案第9号 年度内一時借入れについて

昭和47年度の一般会計予算に充当するため、次ぎにより年度内一時借入れとする。
 1. 借入金額 金1,000,000円也
 2. 借入先 特別会計罹災互助会又は秋田銀行、羽後銀行、
 3. 借入金の利子 日歩3銭以内
 4. 償還期限 昭和48年3月31日

5 会 費	330,000	330,000	
6 全 額	504,000	341,000	163,000
7 訓 練	10,000	100,000	△ 90,000
2 債 還	200,000	200,000	
3 負 担	357,000	346,900	10,100
4 交 際	200,000	200,000	
5 積 立	100,000	200,000	△ 100,000
6 繰 出	200,000	250,000	△ 50,000
7 雑 支	86,000	75,000	11,000
8 予 備	92,000	285,500	△ 293,500
繰出合計	7,031,000	8,601,500	△ 1,570,500

昭和47年一般会計予算が年度の途中において補正する必要が生じた場合、支部負担金の徴収額を差し引いた補正予算の議決を理事会に一任することについて、併せて承認を求める。

議案第5号 借入金について
 消防会館増改築費に充当するため、昭和46年5月29日年利 8.7%10ヶ年賦償還の契約で秋田銀行より借入れた、金 1,500万円を次ぎのとおり借替へするものとする。

- 1. 借替金額 金 1,500万円也
- 2. 借入先 秋田県消防協会特別会計罹災互助会
- 3. 借入金の金利 5.5%
- 4. 償還方法 昭和47年度から向う10年間毎年 150万円づつの年賦償還とする
- 5. 償還期限 昭和57年3月31日

議案第6号 昭和47年度消防会館特別会計目論見について

1. 歳入高金 16,687,000円也
 1. 歳出高金 16,687,000円也

昭和47年度消防会館特別会計目論見書

款 項	目	本年度目論見額
1 事業収入	1 貸室収入	15,775,000
	1 貸事務室賃賃料	2,759,000
	2 厨房レストラン賃賃料	1,799,000
	2 会議室使用料	960,000
	2 遊年度収入	541,000
	1 金談室使用料	540,000
	2 遊年度収入	1,000
	3 宿泊施設収入	12,475,000
	1 宿 泊 料 入	12,474,000
	2 遊 年 度 収 入	1,000
2 付帯収入	1 貸室付帯収入	684,000
	1 電 気 料 料	84,000
	2 電 話 料 料	300,000
	3 共 用 車 料	120,000
	4 駐 車 料	180,000
	228,000	
3 雑収入	1 利子収入	30,000
	2 雑収入	198,000
	1 雑収入	
繰入合計		16,687,000

(歳出内訳)

款 項	目	本年度目論見額
1 会館管理費	1 光熱費	5,340,000
	1 電 気 料	2,178,000
	2 ガ ス 料	900,000
	3 換 気 冷 暖 費	18,000
	4 水 道 料	780,000
	480,000	
	2 整備清掃費	1,782,000
	1 整備清掃費	
	3 通信費	960,000
	1 電信電話料	
	4 課税公課	10,000
	1 諸 税	
	5 保険費	130,000
	1 火災保険料	
	6 當繕修理費	270,000
	1 當繕修理費	
	7 雑費	10,000
	1 雑 費	
2 事業経費	1 諸給与	3,334,000
	1 職員給与手当	2,783,000
	2 通勤手当	1,000
	3 厚生費	1,000
	4 共 済 費	149,000
	2 旅費	1,000
	1 出張旅費	
	3 通信費	10,000
	1 郵便費	
	4 消耗品費	340,000
	1 事業用消耗品費	180,000
	2 事務用消耗品費	60,000
	3 印刷費	100,000
	5 備品費	30,000
	1 事業用備品費	20,000
	2 事務用備品費	10,000
	6 渉外費	50,000
	1 交際接待費	
	7 雑費	120,000
	1 新聞雑誌費	60,000
	2 その他の雑費	60,000
3 雑支出	1 支払利子	937,000

歌と踊りと大プール
 楽しさいっぱい!!
 連日豪華ショー開演中!!
 AM 9:30 ~ PM 7:00

能代温泉
 日本海サニーランド
 TEL (01855) 26194・21161

消防隊の方たちは、毎日訓練をし、火災が起きたら、はやくはやくと出動できるようにして、三六〇度回転させ、あなな「訓練をしよう」といって、訓練を見つけてくれたら、訓練の内容も大分わかっ

た。このようにして、いろいろな訓練を見、いろいろな火事に関する事、いろいろな事、三六〇度回転させ、あなな「訓練をしよう」といって、訓練を見つけてくれたら、訓練の内容も大分わかっ

た。このようにして、いろいろな訓練を見、いろいろな火事に関する事、いろいろな事、三六〇度回転させ、あなな「訓練をしよう」といって、訓練を見つけてくれたら、訓練の内容も大分わかっ

た。このようにして、いろいろな訓練を見、いろいろな火事に関する事、いろいろな事、三六〇度回転させ、あなな「訓練をしよう」といって、訓練を見つけてくれたら、訓練の内容も大分わかっ

消防放談

放水生

●狂った炎
七月土曜日の夜、からの盛は、火の勢が、来る日も来る日も三〇〇度以上の勢を、このようにして、あなな「訓練をしよう」といって、訓練を見つけてくれたら、訓練の内容も大分わかっ

た。このようにして、いろいろな訓練を見、いろいろな火事に関する事、いろいろな事、三六〇度回転させ、あなな「訓練をしよう」といって、訓練を見つけてくれたら、訓練の内容も大分わかっ

“総合防災器具専門店”

- 自動火災報知機 ●非常警報設備 ●求助袋 ●救命ロープ
- 消火器 ●消火栓器具 ●消防被服類 ●消防ホース
- 高発泡器 ●高発泡消火液 ●流出油処理剤 ●オイルフェンス

秋田市泉字隼沼17番の1号
あひで
株式会社 相秀商会
TEL (0188) 23-8450 24-4591

トーハツ消防ポンプ

V50BS
38馬力

避難・警報器
防災設備施工
全般

4馬力 空冷式
10馬力 空冷式 C1級
25馬力 水冷式 B3級
38馬力 水冷式 B3級
45馬力 水冷式 B2級
55馬力 水冷式 B2級

各種土建用ポンプ

お買上げは技術とアフターサービスの完璧な販売店へ

オールジェットホース

(消防用・消火栓用)

森田・初田(賠償責任保険付)

ABC粉末消火器

森田式自動車ポンプ
総代理店 **株式会社 高義商会**
TEL 湯沢③2588 ③2952 川連16番・18番
日本機械自動車ポンプ
高義商事株式会社
TEL 横手②3880 ②3881

田仲工業所 TEL 天竺53
工藤染物商店 TEL 秋田②3178
工藤米治商店 TEL 大館②2121
鹿角自動車整備K K TEL 花輪③2074

ない有様でありました。昭和48年は、このような災害のない明るい年にならねばならぬと、皆さんとともに希望する次第であります。

最近におけるわが国の経済の発展による人口の都市集中、住民の生活環境の変化、特に危険物施設、高層ビル、地下街等の増進に伴い、火災その他の災害の態様に複雑化し、これに充分対処する防災体制の整備が強く望まれている現状であります。

これがためには、設備

年頭のあいさつ

秋田県知事 小畑 勇二郎



県民の皆さま、あけましておめでとうございます。

年頭のことば

秋田県議会 議長 田口 鉄蔵



新春を迎え、皆様のご健勝を心からお祝い申し上げます。

秋田県議会 議長 田口 鉄蔵

激しく、各種火災の発生とともに被害の度合いも、犠牲者の数もますます大きくする傾向があります。これは誠に寒心に堪えないことでもあります。

このように、貴重な財貨と人命を奪い去る火災は、県民生活にとって最大の敵であります。この最大の被害は、更に消防関係各位の体制が逐次整備されてきたにもかかわらず、誠に同様にいたしません。

したがって、消防が社会の要請に即して、更に消防関係各位の体制が逐次整備されてきたにもかかわらず、誠に同様にいたしません。

したがって、消防が社会の要請に即して、更に消防関係各位の体制が逐次整備されてきたにもかかわらず、誠に同様にいたしません。

消防大学校におきましては、このような時代の要請に即して、国民の期待と信頼にこたえ、育ち成人材を養成するため、かねてより、教育内容充実、教育環境としての施設整備に努力してまいりましたところですが、新春を迎える心を新たにすべく、十全を期したいと考えております。

今後とも皆さんの一層のご支援とご協力を願ひ、新年度の活動といたしましては、皆様方の健康に、

わが美しい自然の保護と全県にわたる緑化計画の推進、住宅、道路、公園、上下水道の建設、産業廃棄物の処理等生活環境を整備し、レクリエーションの施設を思いっきり充実させるなど余暇対策にも取り組んでまいりたいと考えております。

第二は社会福祉の充実であります。医療費の所得制限を撤廃すること、新たに老人居室にも助成し、また就労のあつせんやグループ活動の育成に、

市民の皆さまの健康に、

年頭のことば

第二十一普通科連隊長 兼秋田駐とん地司令 重松 日出男



新年を迎えるにあたり、県内消防関係の皆様にご挨拶を申し上げます。

市の中核化、車両の激増、建築様式の高層化、更に石油製品の需要増大、生活様式の変化により常に火災の身辺に災害の誘因となる要素が満ちている状況にあります。

それに対処する防犯活動も複雑多岐にわたります。高度な防災技術が要求されるのであります。

これがため皆様には消防防災体制確立に日夜ご努力をなされたいと、誠に同様にいたしません。

皆様方とは主任務として、急進的な経済成長に伴い、都

年頭のことば

秋田県民生部 部長 富樫 恭康



昭和四十八年の新春を迎えるにあたり、県民の健康と幸福を心から願ひ申し上げます。

昭和四十八年の新春を迎えるにあたり、県民の健康と幸福を心から願ひ申し上げます。

本県の消防力は、近年充実強化されつつありますが、消防防災体制が整備されつつある中、誠に心強く、ご同様にいたしません。

いる幼児等に力を入れるとともに、生きがいを求め、だれでも参加できる楽しい社会教育を弾力に推進したいと考えております。

なおこれは、日本列島改造の推進に伴う高速交通体系の整備と地方都市圏の形成が大きな課題であり、これに積極的に対応するとともに、地方自治の模範となる新しい「ミニシティづくり」に力を入れてまいりたいと存じます。

県政の推進にあたりましては、従来にもまして皆様の積極的なご参加をえたいと存じております。なにとぞ、すようご協力申し上げます。

新春にあたり

秋田県消防防災課 課長 保坂 悌之助



昭和四十八年の新春にあたり、県民の健康と幸福を心から願ひ申し上げます。

昭和四十八年の新春にあたり、県民の健康と幸福を心から願ひ申し上げます。

消防の皆さんが、県民の生命身体、財産を災害から守るため日夜献身的に努力をなされつつありますが、誠に心から感謝と敬意を表する次第であります。

振り返りますと昭和四十七年は、本県消防の広域化推進が順調に進み、装備強化をはじめ救急体制においても著しい強化が図られ、消防全盛にわたる一段と充実されたことと喜ばしく感じました。

消防組合の設立を促進しつつ、これが広域化の実現に努めてまいりたいと存じます。

第二には、消防教育の充実と、救急施設の整備であります。

消防の広域化により急増する職員を主体に、消防関係者の資質の向上を図るとともに、県消防学校の施設整備に努力してまいりたいと存じます。

第三は、市町村消防施設の整備促進であります。

近年急増する中高層建築物の火災に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車の配備と救急業務の合理的運用を図るため、指令台の設置を促進してまいりたいと存じます。

何卒皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、本県消防界の発展と皆様のご健闘を心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

秋田へお越しの節のお泊りに、ぜひご利用ください。

謹 賀 新 年

☆全館冷暖房完備。各室共にテレビ

- ▶一般のお客様
- 1人室(洗面所・トイレ付) ¥1,800(税・サービス料込み)
- 2人室(バス・トイレ付) ¥3,200(税・サービス料込み)

電話を備えております。

ホテルあきた

秋田市中通4丁目3の23
(秋田県消防会館内) ☎24111

- ▶会員の方
- 1人室(洗面所・トイレ付) ¥1,500(税・サービス料込み)
- 2人室(バス・トイレ付) ¥2,700(税・サービス料込み)

新春に輝く知事表彰

県消防防災課では、消防功業者を恒例により、元日のよき日に表彰すべく、昨秋、市町村の消防施設の改善や消防技術の向上に努め、著しい功労のあった者、永年勤続し勤務成績の優れた者、このほど受賞の栄誉に浴する者を発表するとともに、知事名で各市町村の当初式当日贈賞に依達して欲しいと各市長や福祉事務所長あて依頼状を送った。

なお受賞者は次のとおりであるが、施設の改善や技術の向上に功労のあった者に有向章、三十年以上勤続して勤務成績優秀なものに金色勲章、二十五年以上勤続して勤務成績優秀なものに銀色勲章、二十年以上勤続して勤務成績優秀なものに銅色勲章をそれぞれ贈られることになった。

消防功業者を恒例により、元日のよき日に表彰すべく、昨秋、市町村の消防施設の改善や消防技術の向上に努め、著しい功労のあった者、永年勤続し勤務成績の優れた者、このほど受賞の栄誉に浴する者を発表するとともに、知事名で各市町村の当初式当日贈賞に依達して欲しいと各市長や福祉事務所長あて依頼状を送った。

なお受賞者は次のとおりであるが、施設の改善や技術の向上に功労のあった者に有向章、三十年以上勤続して勤務成績優秀なものに金色勲章、二十五年以上勤続して勤務成績優秀なものに銀色勲章、二十年以上勤続して勤務成績優秀なものに銅色勲章をそれぞれ贈られることになった。

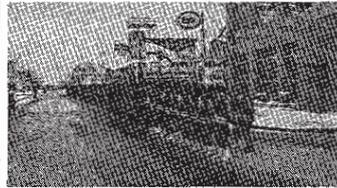
功業者を恒例により、元日のよき日に表彰すべく、昨秋、市町村の消防施設の改善や消防技術の向上に努め、著しい功労のあった者、永年勤続し勤務成績の優れた者、このほど受賞の栄誉に浴する者を発表するとともに、知事名で各市町村の当初式当日贈賞に依達して欲しいと各市長や福祉事務所長あて依頼状を送った。	なお受賞者は次のとおりであるが、施設の改善や技術の向上に功労のあった者に有向章、三十年以上勤続して勤務成績優秀なものに金色勲章、二十五年以上勤続して勤務成績優秀なものに銀色勲章、二十年以上勤続して勤務成績優秀なものに銅色勲章をそれぞれ贈られることになった。
功業者を恒例により、元日のよき日に表彰すべく、昨秋、市町村の消防施設の改善や消防技術の向上に努め、著しい功労のあった者、永年勤続し勤務成績の優れた者、このほど受賞の栄誉に浴する者を発表するとともに、知事名で各市町村の当初式当日贈賞に依達して欲しいと各市長や福祉事務所長あて依頼状を送った。	なお受賞者は次のとおりであるが、施設の改善や技術の向上に功労のあった者に有向章、三十年以上勤続して勤務成績優秀なものに金色勲章、二十五年以上勤続して勤務成績優秀なものに銀色勲章、二十年以上勤続して勤務成績優秀なものに銅色勲章をそれぞれ贈られることになった。

消防協会長表彰

消防防災課では、消防功業者を恒例により、元日のよき日に表彰すべく、昨秋、市町村の消防施設の改善や消防技術の向上に努め、著しい功労のあった者、永年勤続し勤務成績の優れた者、このほど受賞の栄誉に浴する者を発表するとともに、知事名で各市町村の当初式当日贈賞に依達して欲しいと各市長や福祉事務所長あて依頼状を送った。

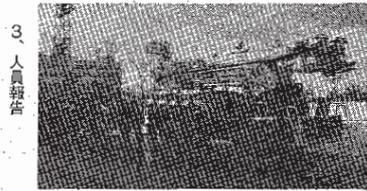
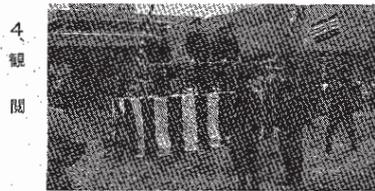
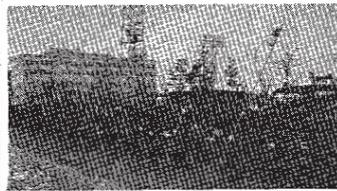
なお受賞者は次のとおりであるが、施設の改善や技術の向上に功労のあった者に有向章、三十年以上勤続して勤務成績優秀なものに金色勲章、二十五年以上勤続して勤務成績優秀なものに銀色勲章、二十年以上勤続して勤務成績優秀なものに銅色勲章をそれぞれ贈られることになった。

火の始末目と手と心で
もう一度

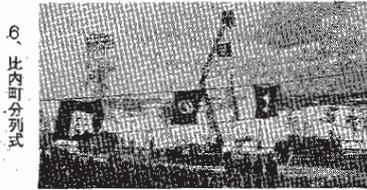
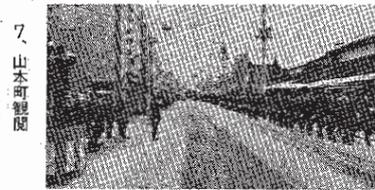


1973年を飾る 消防出そめ式

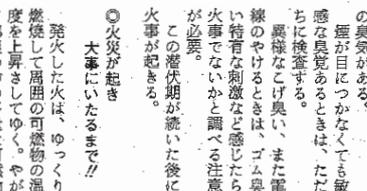
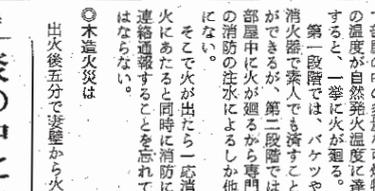
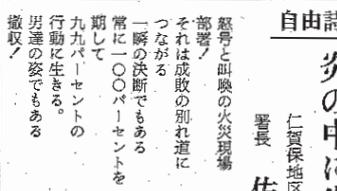
本年は消防制度改革されて二十五周年を迎えるわけであるが、今年こそは是非とも無火災の年にしようと堅い誓いを立てた恒例の消防出そめ式が、一月三日県内トップをきって北秋田郡阿仁町が実施した。続いて県内各地が思い思いの祈願をかけて敬儀に行なわれた。その晴れの出そめ式風景をこの紹介しませう。



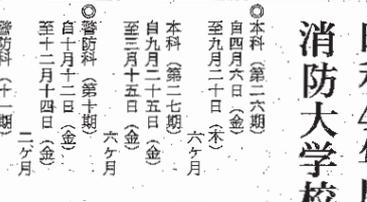
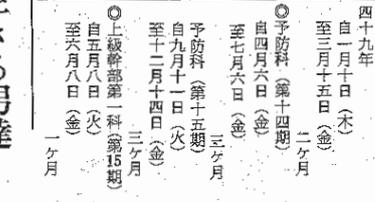
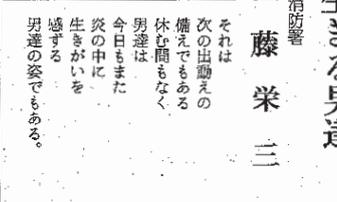
2 秋田市



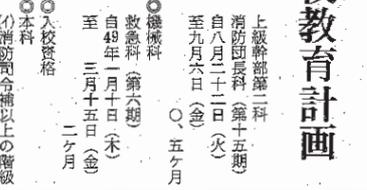
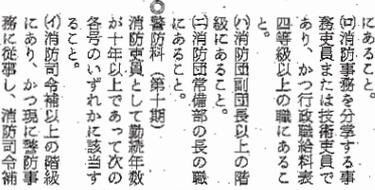
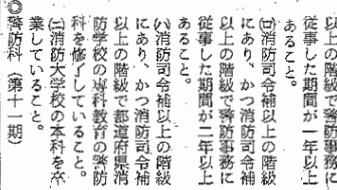
5、放水



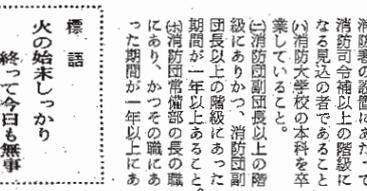
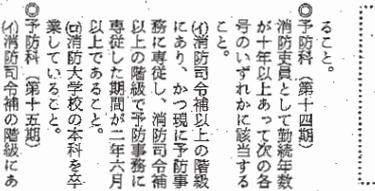
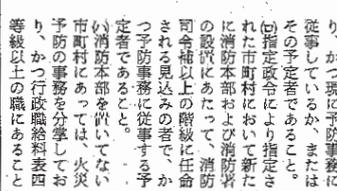
6、比内町分列式



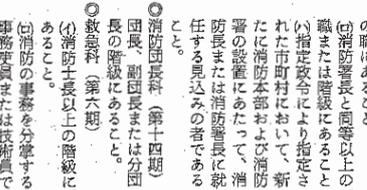
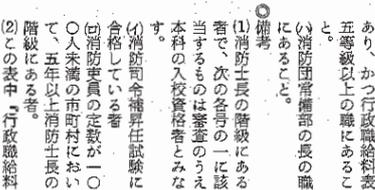
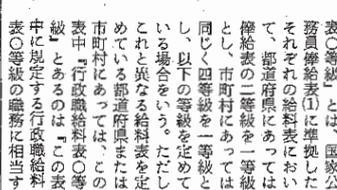
7、山本町観閲



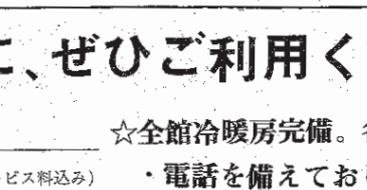
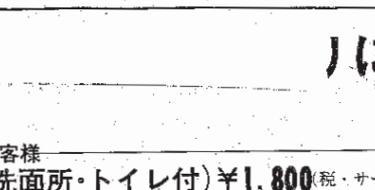
1、整列



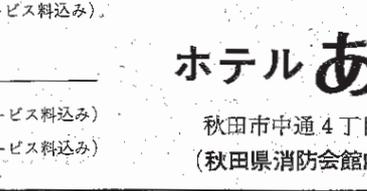
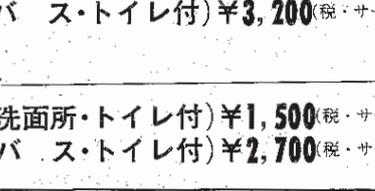
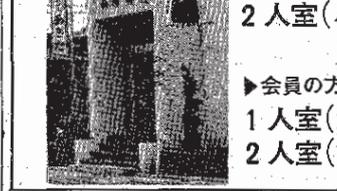
4 観閲



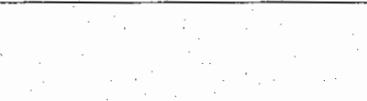
3、人員報告



1、整列



4 観閲



7、山本町観閲

消防秋田

定価 1部 20円 23
秋田市中通4丁目3番地
秋田県消防協会
電話 24111
発行 編集 印刷 所
発行 編集 印刷 所
発行 編集 印刷 所

火災が起きるまで!!

火のないところに煙が立たぬ。火がつけば必ず煙が出る。あやしい煙が出たら火事と考える。これらの煙には必ず特有の臭気がある。煙が目につかなくても敏感な臭気あるときは、ただちに検査する。異常な臭気、また電線のやけるときは、ゴム臭い特有な刺激など感じたら火事でないかと調べる注意が必要。この潜伏期が続いたら火事が起きる。

●火災が起きるまで!!
大火にいたるまで!!
発火した火は、ゆっくり燃焼して周囲の可燃物の温度を上昇させてゆく。やがて部屋の中の多量な可燃物の温度が自然発火温度に達すると、一挙に火が起る。第一段階では、バケツや消火器で素人でも消すことができるが、第二段階では部屋中に火が廻るから専門の消防の注水によるしか他にない。そこで火が出たら一応消火にあたると同時に消防に連絡通報することを忘れてはならない。

●木造火災は
出火後五分で壁壁から火が広がる温度六五〇度。十分で木骨となる。十五分で倒れる。温度八二〇度といわれている。

●火災火災は
出火後二十分で煙が多く出て火源の周囲に燃焼する。四十分で材料燃焼も燃焼し出火口から火が出る。温度三三〇度。一時間最盛期で温度七〇〇度といわれている。

●火災火災は
出火後二十分で煙が多く出て火源の周囲に燃焼する。四十分で材料燃焼も燃焼し出火口から火が出る。温度三三〇度。一時間最盛期で温度七〇〇度といわれている。

●火災火災は
出火後二十分で煙が多く出て火源の周囲に燃焼する。四十分で材料燃焼も燃焼し出火口から火が出る。温度三三〇度。一時間最盛期で温度七〇〇度といわれている。

●火災火災は
出火後二十分で煙が多く出て火源の周囲に燃焼する。四十分で材料燃焼も燃焼し出火口から火が出る。温度三三〇度。一時間最盛期で温度七〇〇度といわれている。

昭和48年度 消防学校教育計画

- 本科 (第二二期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第二七期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第二八期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第二九期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第三〇期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第三一期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第三二期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第三三期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第三四期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第三五期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第三六期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第三七期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第三八期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第三九期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第四〇期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第四一期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第四二期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第四三期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第四四期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第四五期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第四六期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第四七期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第四八期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)
- 本科 (第四九期) 自九月十五日 (金) 至三月十五日 (金)
- 本科 (第五〇期) 自四月六日 (金) 至九月十日 (金)

火の始末しかり 終って今日も無事

●火の始末しかり
終って今日も無事
消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。

●火の始末しかり
終って今日も無事
消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。

●火の始末しかり
終って今日も無事
消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。

●火の始末しかり
終って今日も無事
消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。消防隊員は、火災現場で、火の始末しかり、終って今日も無事。



秋田へ
一般のお客様
1人室(洗面所・トイレ付) ¥1,800 (税・サービス料込み)
2人室(バス・トイレ付) ¥3,200 (税・サービス料込み)

に、ぜひご利用ください。
☆全館冷暖房完備。各室共にテレビ
・電話を備えております。
ホテルあきた
秋田市中通4丁目3番地
(秋田県消防会館内) ☎24111

会員の方
1人室(洗面所・トイレ付) ¥1,500 (税・サービス料込み)
2人室(バス・トイレ付) ¥2,700 (税・サービス料込み)

Table with financial data for fire department projects. Columns include project names (e.g., 重点項目要求額, 予算要求重点項目), amounts, and categories. Total budget is 92,860,000 Yen.

昭和48年度消防庁 予算要求重点項目

予算要求重点項目 (Budget Request Key Items). Lists various equipment and infrastructure projects such as fire trucks, pumps, and communication systems with their respective budgets.

消防放談 (Fire Talk) 放水生 (Water Release). Introduction to the article about fire water release techniques and safety.

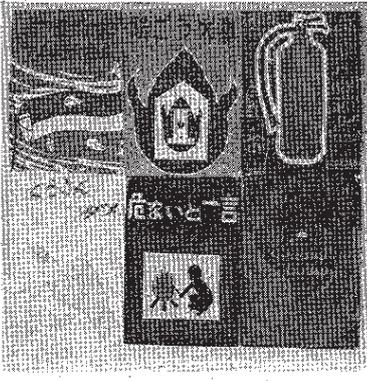
消防放談 (Fire Talk) 放水生 (Water Release). Main body of the article discussing fire water release methods, equipment, and safety protocols.

消防放談 (Fire Talk) 放水生 (Water Release). Continuation of the article, focusing on practical aspects of fire water release.

消防放談 (Fire Talk) 放水生 (Water Release). Further discussion on fire water release techniques and the role of firefighters.

消防放談 (Fire Talk) 放水生 (Water Release). Final part of the article, concluding with safety advice and the importance of fire preparedness.

トーハツ消防ポンプ (Tohatsu Fire Pump) advertisement. Features a large image of a fire pump and lists various models (e.g., 38馬力, 4馬力) and their specifications. Includes contact information for Tohatsu and its distributors.



昨年秋の火災予防運動の行事として、全県高等学校、中学校、小学校から募集したポスター三八〇点、標語三二二点について、一月二十九日午後一時三十分から消防会館で次の審査員四氏により慎重に審査された。

防火ポスターと標語の審査結果について

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

中田建設株式会社

取締役社長 山崎 寛喜
専務取締役 中田 栄喜

本社 秋田県能代市万町4の20 TEL (01855) 2-5335代表
出張所 秋田県秋田市山王新町1の1 TEL (0188) 24-3241代表

東京・仙台・岩手

かや屋根改造工事専門

株式会社 南間製作所

本社：山形県酒田市坂野辺新田下割2の1
TEL 酒田 (02342) ③ 6511

代表取締役 南間 藤治郎

秋田県本荘市三川
株式会社 南間製作所
秋田営業所
電話 本荘 01842②4228番

火の始末、次に元柱
三に水
大徳桂高校
三年 乳井 共子
火の元を目標耳で
もつ一度
平鹿町立藤崎中学校
一年 柴田 ミチキ
消し忘れ切り忘れ
軽いがすにも重い責任
小坂町立上川小学校
六年 中村 徳光
火種 火元 火遊び
火事の元
森吉町立平浦小学校
五年 細川 智
火の用心はくらの声で
町守れ
五年 石川 学
火の用心はくらの声で
町まもる

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

秋田県消防防災課 保坂 課長
秋田県教育委員会 荒谷指導課長
八島指導課長
秋田県消防協会 伊藤理事長
以上四氏

